

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

令和3年 11月 25日

和泉市長 あて

団体名 和泉いいまちプロジェクト

代表者名 池田香奈

所在地

電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	多世代交流の場『サードプレイス』
申請コース	(1) 公益活動支援コース ■チャレンジコース                      □ステップアップコース (2) 地域活性化コース □地域活性化コース
事業費総額	_____ 115,200 _____ 円 (うち、対象経費 _____ 115,200 _____ 円)
支援金 交付申請額	_____ 76,000 _____ 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(  はい ) ・  いいえ )

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 団体概要調書

フリガナ	イズミイイマチプロジェクト		
団体名	和泉いいまちプロジェクト		
団体の目的	この地域に関わる人たちの交流を生み出す活動を行う。 それぞれの世代が抱える課題をそれぞれの世代が補え合えるという観点から住民が主体的に関わっていけるような場づくりを行う。		
市内事務所の所在地			
	電 話	F A X	( )
フリガナ	イケダ カナ		
代表者氏名	池田 香奈		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※	電 話	( )
	フリガナ		
	同上	F A X	( )
	(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。		
設 立 年 月	2021年 9月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 ( 回発行) ・ <input checked="" type="radio"/> 無	会員数	5人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	(1) 多世代が集える交流カフェ事業 (2) 住民がそれぞれの強みを発揮できるためのワークショップ事業 (3) その他この会の目的の達成に必要な事業		
主な活動の実績	なし		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)
	なし	なし	なし

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 事業計画書

1 事業名	多世代交流の場『サードプレイス』
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input checked="" type="checkbox"/> チャレンジコース <input type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
①事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化による世代間交流が乏しくなっている。</li> <li>・地域によっては同世代世帯が多く、近所付き合いは希薄化している。</li> <li>・高齢者、子ども、障がい者、認知症等カテゴリー化された集いの場はあるものの、誰もが自由に気軽に集える場が少ない。</li> <li>・場で語らう、共に過ごすことが目的とされている集いの場が少ない。</li> </ul>	
②事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間交流を促進する。</li> <li>・年齢、性別、障がいの有無等の多様性を発見、認め合える場を提供する。</li> <li>・集い語り合うことで、更なる主体的な活動（その人の得意なことや強みを生かす）を集う人自らで取り組むことを推奨、役割活動をつないでいく。</li> </ul>	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回、誰もが集える場をカフェ形式にて提供する。</li> <li>・集い語り合うことで、強みや得意なことの再発見、そういったことを展開できるワークショップ等の実施</li> <li>・地域内で活動している団体との連携・情報交換を行う。</li> </ul>	
②実施期間（日時）	月に1回（今後は第〇日曜日等、定期開催を予定）
③実施場所	和泉府中商店街 和泉ショッピングセンター2階 『がじゅまる整体』
④主な対象者	和泉市民
⑤参加予定者数	1日につき10～20名程度
⑥告知方法	実施場所周辺でのチラシ配布、Facebook、インスタグラム、口コミ

5 事業スケジュール	
時期（月）	内容
令和4年4月～令和5年3月	<p>頻度：毎月1回 （今後は第〇日曜日等、定期開催） 時間：14:00～16:00</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーヒーやお菓子を食べながら、場で語り合う、共に過ごす、くつろぐ</li> <li>・主体性を生かしたワークショップ ヘルスケア講座、カードゲーム、駄菓子販売、回想法を利用したコミュニケーションづくり等</li> </ul>
<p>6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照 （実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。）</p>	
① 公益性	核家族化や世代間交流不足、縦割り行政の中、多世代交流や多様性を認め合える交流の場は、地域課題解決につながる。そこから発展される主体的活動は、自らの力で地域を変えていく力につながり、公益性の発展に寄与できると考える。
② 継続性	「社会とのつながりを失うことがフレイル（虚弱）の最初の入り口」と言われており、交流の場、社会とつながる場は必要不可欠であることが予測される。よって、継続的な展開が必要。
③ 実行性	月に1回の定期開催を予定。開催場所やオーナーとの取り決めも確保できており、実行性は高い。メンバー、オーナーともに同職種、同職場でありチーム間の情報共有が行いやすい。大阪ええまちプロジェクトによる後援を受けている。
④ 協働性	誰もが参加できる場とする。集うことから、市民の主体的な活動や、連携の促進、新たな地域課題の発掘や問題解決への発展に展開していく。
⑤ 公開性	誰もが参加できる場とするため、広域に公開していく。周囲へのチラシの配布は、子どもから高齢者まで幅広い事業所を予定している。Facebook やインスタグラムといった SNS も活用。
⑥ 発展性 （先駆性・ 展開性） （集客性）	カテゴリー分けされた集いの場はあるものの、誰もが自由に集える場は少ないと考えている。他市（堺市茶間台団地）や他県（奈良県千原堂）の取り組みをモデルに展開していく

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

## 収支予算書

事業の名称： 多世代交流の場『サードプレイス』

### 1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	76,000 円	和泉市市民活動推進支援金
事業収入		
自主財源	39,200 円	団体会計より
合 計	115,200 円	

### 2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
消耗品費	38,000 円	衛生消耗品 6,000円 座布団10枚 10,000円 電気カーペット2枚 15,000円 アクリルパーテーション5台 5,000円 体温計 2,000円
使用料	60,000 円	年間12回開催予定 府中 ガジュマル整体院 レンタル料 1日5,000円
印刷製本費	7,200 円	カラーチラシ印刷 1枚30円、1回配布 20枚×年間12回=240枚
原材料費	10,000 円	備品作成（案内看板やパーテーション等）
備品費(対象経費)		
備品費(対象外経費)		
合 計	115,200 円	
対象経費	115,200 円	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。  
 ※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。